

# 制限外積載許可等申請書（制限外積載）記載例

別記様式第四（第八条関係）

該当するものを○で囲ってください。 → **制限外積載**

## 設備外積載 許可申請書

荷台乗車

出発地を管轄する警察署長名 → ○○ 警察署長 殿

申請又は作成日 → 令和○年○月○日

住所 佐世保市○○町○○番○○号

申請車両の運転者を記載してください。2名以上の場合は、連記し、連記できない場合は、運転者一覧表や運転者全員の運転 → 申請者 氏名 ○○○ ○○

申請者の免許の種類	例) 大型、けん引、大特、中型 など	免許証番号	9 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
車両の種類	例) 大型、準中型、普通、大型特殊 など	番号標に表示されている番号	佐 世 保 1 0 0 △ 1 1 1 1	
車両の諸元	長さ	幅	高さ	最大積載重量
	8.46 m	2.48 m	2.6 m	3,650 kg
運搬品名	例) コンクリート柱、建設機械、レール など			
制限を超える大きさ又は重量	長さ	幅	高さ	重量
	1.608 m	0.324 m	0.1 m	kg
制限を超える積載の方法	前	後	左	右
	0.454 m	1.154 m	0.162 m	0.162 m
設備外積載の場所	荷台に乗せる人員			
運転の期間	令和○年○月○日 から 令和○年○月○日 まで			
運転経路	出発地	経由地	目的地	
	長崎市○○町○○番○号 △△鉄鋼株式会社	諫早市○○町○○番○号 □□□工業	大村市○○町○○番○号 △△鉄鋼大村営業所	
	通行する道路		長崎市道～国道34号～大村市道	

申請者の方は記載しないでください。許可をする警察署で記載します。

第 ○ 号

### 制限外許可証

上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。

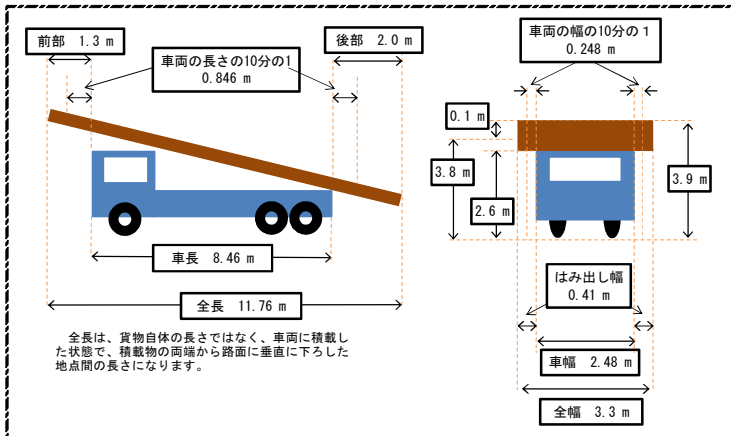
条件	
----	--

年 月 日  
警察署長 印

備考用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。



「制限を超える大きさ又は重量」、「制限を超える積載の方法」の記載方法について説明します！



【制限を超える大きさ又は重量】

- 長さ** (積載物の長さ) - (車長 × 1.2) の値を記載する。  
※ 「積載物の長さ」は積載した状態の長さ (左図の全長)
- 幅** (積載物の幅) - (車幅 × 1.2) の値を記載する。  
※ 「積載物の幅」は積載した状態の幅 (左図の全幅)
- 高さ** (積載時の高さ) - 3.8m の値を記載する。  
※ 指定道路のみを走行する場合は4.1mを減じた高さ  
※ 軽自動車の場合は2.5mを減じた高さ
- 重量** 原則として許可しない。

【制限を超える積載の方法】

- 前/後** (前後それぞれはみ出る部分の長さ) - (車長 × 0.1) の値を記載する。
- 左/右** (左右それぞれはみ出る幅) - (車幅 × 0.1) の値を記載する。